釜石シーウェイブスの10年。これからの10年へ。

2001.4.25 ▲ 2002 ▲ 2003 ▲ 2004 ▲ 2005 ▲ 2006 ▲ 2007 ▲ 2008 ▲ 2009 ▲ 2010 ▲ 2011

新ジャージで戦う第36回IBC杯早稲田大学戦（2001.6.10）

プレーオフ三菱重工相模原戦に勝利、19年振りの全国へ（2004.1.4）

チーム状態の低迷にも諦めずトライを求めて（2004.11.28）

ラグビー王国復活目指してイーハトーブリーグ開幕（2007.5.11）

強豪・三菱重工相模原に逆転勝利しTLへの期待が膨らむ（2008.9.7）

大漁旗を翻し釜石コールで熱烈応援するサポーターたち

釜石シーウェイブスRFC(SW)は、日本初の地域共生型クラブチームとして、また前身である栄光の新日鉄釜石ラグビー部を継ぐものとして、2001年４月25日に創設されました。

多年代層へのラグビーの浸透やボランティアの活動の場をつくるため、地域の活性化を担う総合型スポーツクラブを旗揚げしたＳＷでありましたが、創設の直前２月４日の東日本チャレンジリーグ最終戦で三菱重工相模原に１点差で敗れ、東日本リーグから初めて降格するという前途多難な船出でした。

荒波にもめげず　強い決意で出発

それでも、前後してラグビーから撤退した企業チームの選手たちも駆けつけ、志しを高く掲げた選手たちは頑張ります。初年度こそ、関東社会人１部リーグで５勝２敗ながら４位に終わり、無念ながら東日本リーグ昇格はなりませんでしたが、2002年にはマコーミックら経験豊富な強化選手が馳せ参じて、関東社会人１部を７戦全勝し、第55回全国社会人大会への出場権をかけてＮＥＣと秩父宮ラグビー場で対戦しました。翌年開幕するトップリーグに参入する条件ともなる最後の全国社会人大会への出場権をかけた試合で、ＮＥＣを追い詰める場面もあったものの、力及ばずに敗退。その後に、NECが強豪との激闘の末、第40回日本選手権を初制覇したのも、SWの数奇な運命によるものかも知れません。

2003年トップリーグの開幕とともに地域リーグはトップイーストとなり、ＳＷは６勝３敗の３位、そしてイーストプレーオフで三菱重工相模原に劇的な逆転勝利を遂げチャレンジリーグに進出します。チャレンジでは豊田自動織機に敗退し、トップリーグ入替戦には進めませんでしたが、コカ･コーラ･ウエストジャパンに１点差辛勝の賜物として、第41回大会のみ22チーム出場と拡大した日本選手権に、社会人枠最終順位で出場。東海大学を撃破した後、関東学院大学に逆転１点差で敗れ、全国ベスト12入りを逃すものの、全国でＳＷの健闘が讃えられました。

全国大会復帰も　淡き夢と消えて

その後、イースト５位、８位と低迷した２年間を、凍てつくグラウンドや仙人峠から吹き降ろす寒風の逆境にもめげず頑張り続けた選手たち。必ずトップリーグに昇格し、いつかは日本一を釜石に奪還するんだと、願い続けてきました。ピタ･アラティニの加入もあり、2006年６位と上向きになったSWは、2007年、岩手一丸となってラグビー再興を目指すイーハトーブ立ち上げに寄与します。また、創設の志に立ち返り、「強い」「愛される」「地域に誇りをもつ」とクラブの３ビジョンを策定。中長期計画を発表し、強化促進、資金拡大、支援拡張の施策を展開し続けます。

基盤整備が功を奏し、イースト開始時の順位では、2010年までの３年で７位、７位、４位と、溜め込んだ力を爆発させるような上昇ムードとなりました。

クラブの支援企業数は、2007年から倍増し、今では500社を目前にした多くの企業団体から強化資金の支援があります。また、創設から、取り組み続けた小中学校タグラグビー教室とジュニアや中学生ラグビー支援も、着実に進展をみせています。また、釜石での公式戦も、2006年に前代未聞の　"柵無し"有料試合を開催して以降、年々観客数も増加し、2,500人をゆうに超える応援の皆さんの前で、勇姿をみせるＳＷです。

荒海を乗り越えて　見えてきた夢のTL

2010年に創設10周年シーズンを迎え、応援を盛り上げて、強化資金を集める記念事業が展開され、街中の車に10周年記念ステッカーが貼られ、松倉グランドでは10周年記念マフラータオルを手にした人たちでスタジアムがいっぱいになりました。

まさに地域をあげてSWのTL入りを祈願したシーズンで、６連勝の快進撃で突き進みましたが、上位との接戦をものに出来ず、得点力が増し、強いSWを印象付けたものの、惜しくもTLチャレンジを逃す悔しい結果でした。

サポーターと共に　闘い続けるSW

NEXT DECADEに向けて再び態勢を整える最中、2011.3.11東日本大震災が地域一帯を襲いました。未曾有の大惨事にＳＷの活動継続も危ぶまれるところでしたが、地域をはじめ全国のサポーターの温かい志に支えられ、釜石ラグビーの復興のため、強く、愛され、地域に誇りを持つチームとして、これからも励んで参ります。ぜひ応援を、よろしくお願い申し上げます。